

歳を重ねると眠りが浅くなり熟睡できないとよく聞きます。この前の休日、夜更かししたつもりはないのですがいつの間にか寝てしまい、学校から帰ってきた子どもらに起こされるという事態に。「寝る子は育つ」といいますから、まだ成長期の坂です(笑)。

僕が食欲旺盛なのはそのせいかもしれませんね(笑)。昔から語り継がれ今もなお知っている人が多いことわざには、なるほどと思う事が多いですね。「早起きは三文の徳」などは子どもの頃はまったく理解できませんでしたし、今も実践できているとはいえないですが、一日を有効に過ごすことができ健康にも良いのは、周知の事実です。また「腹八分は医者いらぬ」も過食は万病のもとになり、お腹いっぱい食べるのは禁物であり健康でいたかったら少食がいいという意味で、このことわざも皆さんよく知っているのではないかでしょうか。あれれ?ということは僕は不健康ということですか?僕の食生活を肯定してくれることわざはないのでしょうか?知っていたら教えてください(笑)。



○ 坂 拓磨  
○ 37歳3児の父!

まだ新入社員? 坂(パン)が昼ごはんにまつわる  
エピソードを綴る 昼だけどパンメシ! のコーナー



## 復活! わかつたら答えを書いてハガキで応募! クイズのコーナー!

先月号の問題は「県民がシマの服を着ている県はどこ?」でした。私もシマの洋服を着ることができます生粹の高知県民です(笑)。正解は福島県(服シマ)。正解者の中から四万十市有岡のY様、蕨岡のS様の2名様にスイートバスケット焼き菓子詰合せをプレゼント! おめでとうございます。ここで今月の問題「亀とラクダとサイが何か買いたい物しています。何を買っているのでしょうか?」答えがわかつた方は郵便番号787-0009 住所 四万十市佐岡446 ドリーマー中村葬祭館かわら版10月号プレゼント係までご応募ください。正解者の中から2名様に北海道スープ&ビーフカレーセットをプレゼント。ここでヒントです。必要な方は読まないでくださいね。「3匹をゆっくりと読んでみると…」がヒントです。答えがわかつた方はドシドシご応募ください。

お待ちしております。まだ10月ということで先月からの食欲の秋継続中です(笑)。

お昼ご飯に甘いデザートを欠かすことのできない横山奈歩がお届けしました(笑)。

本格的な秋の到来です。  
落ち葉拾いに変われば  
無くなりますが、  
不快な思いをさせることが  
発揮されます。  
これから訪問するお客様に  
ここでも着けていたゴム手袋の力が  
それが済めば今度は隅をチェックします。  
今の時期はカニが侵入していることが  
多いので注意深く隅をチェックします。  
見回しひどいが落ちていて掃除をします。  
身に着け会館の見回りをするのが  
置き、外の倉庫に置いてあるゴム手袋を  
日課となっています。館内をさつと  
会社に着いたら事務所の机にカバンを  
見回しひどいが落ちていて掃除をします。  
それがあれだけおいしく感じたのに今は温かいうどんが食べたいなと思う事が  
多くなりました。四季の移り変わりを  
体が欲する食べ物でつい判断してしまいます(笑)。まだ日中は暑い日が多い10月は風が通る木陰でお弁当を食べるが、一番のおススメです(笑)。そんなことはさておき先日、会館内の不要なゴミを一日がかりで処分しました。喫茶コーナーのレイアウトも変えたのですっきりしたと思います。

○佐竹 健作  
○空手三段のお掃除好き



## ~ 会館だより ~

そうめんやアイスクリームといった冷たいモノがあれだけおいしく感じたのに今は温かいうどんが食べたいなと思う事が多くなりました。四季の移り変わりを体が欲する食べ物でつい判断してしまいます(笑)。まだ日中は暑い日が多い10月は風が通る木陰でお弁当を食べるが、一番のおススメです(笑)。そんなことはさておき先日、会館内の不要なゴミを一日がかりで処分しました。喫茶コーナーのレイアウトも変えたのですっきりしたと思います。



高野 香

毎月 20 日に  
新聞折込  
しています!!

ご要望に  
お答えします



○山本 純子  
○年齢 60歳

研鑽を積む  
大切さ



○兵頭 隆一  
○年齢 45歳

9月の中頃になって秋らしく涼しい日々が来たかと思いきや、10月に入つてからまた夏のような暑い日が続いています。しかし、そのような中でも少しずつ日が落ちるのが早くなっています。さて、私たちドリーマーはお葬儀を営むなかでお客様から様々な要望の声が寄せられています。今回はその中からいくつかを紹介します。例えば死亡保険。これはお客様からの葬儀費用の負担を少しでも軽く出来ないかという声をもとに取り扱うようになりました。また位牌作成の承りもお客様の手間などの負担軽減を求める声にこたえる形で行っております。今回は代表して2つの例を示しましたが、他にも様々な声が寄せられております。その声に私たちドリーマーはできるだけ応えたいと思います。

私達ドリーマースタッフはお客様の為に出来ることを日々探しています。終活の必要性が新聞やテレビで取り上げられ問い合わせが増えたことから終活力ウンセラー資格を中村葬祭館のスタッフにおいては大半が取得。マネジャーに至っては1級終活力ウンセラー資格を有しています。またお客様に心のこもったおもてなしを実践するため外部講師を招き毎年講習を受けています。私達がお葬儀の打ち合わせをさせて頂くお客様は大切な人を失いとても動搖し、普通の精神状態ではありません。体力的にもひどく疲労しています。そんなお客様の気持ちに寄り添い共感しお客様の立場になって考える。私達スタッフが目指す姿です。

## 重要です!

### 1.もしもの時、あわてない為に事前にできる事



葬儀会社に事前相談をして見積をとる事をオススメします。料金はもちろんですが、会館や担当者の雰囲気を感じる絶好の機会ですから、疑問点があれば、なんでも質問してみましょう。私、山本は丁寧な敬語は苦手ですが幅広い知識を駆使して一生懸命ご説明します。親しみやすい人柄だとよく言って頂けるので安心してご相談ください。葬儀会社を比較して選択しておくとても重要なポイントです。

### 2.いざ、その時がきてしまったら・・・



①.ドリーマーに電話(24時間対応しています) ⇒ ②.担当者との打ち合わせ(ご要望をお聞かせください) ⇒ ③.担当者が見積を作成(わかりやすく、ご説明します)  
ここがポイント!

この段階で大体の葬儀代金がでます。ここで予算が合わないようでしたら、再度ご希望に合うようご提案させて頂きます。ですから予定のご予算でお葬儀をして頂けます。安心して私達ドリーマーをお選びください。ドリーマーは互助会の会社ですので事前に入会して頂ければ割引等会員様特典がございます!まずはご相談を!

